

景観

を語ろう！

建設課 (☎0968-75-1122)

シリーズ「玉名らしい景観」をかたるまち を目指して②
—玉名市景観計画—

◆「景観（見ること）」を通して

玉名市の奥深い歴史を探ってみませんか？

「玉名市景観計画」では、「景観形成推進地区」や「景観形成準備地区」などの地区区分を設けています。

その中には、「見て美しい」というだけではなく、その背景となる「歴史」を知ること、さらに味わい深く、魅力的な景観がたくさんあります。

推進地区 山田日吉神社周辺地区

「山田の藤」が有名な山田日吉神社ですが、山田地区は中世から修験道の本拠地として栄えてきました。その名残りを、神社へ続く道路の両側に残る「白山十二坊」に見ることができます。



▲山田日吉神社に続く参道の両側に残る「白山十二坊」と呼ばれる坊跡を地域の人々が守っています。

準備地区 旧玉名干拓施設周辺地区

加藤清正公以降、400年以上にもわたる干拓事業により誕生した横島町、大浜町。堤防や樋門が広大な農地の中に点在し、人々の暮らしを守ってきました。

▶干拓事業の歴史を今に伝える大規模な干拓施設は壮観です。



この他にも、玉名市には独特の歴史を背景に形づくられた魅力的な景観がたくさんあります。

“歴史”が見える景観

推進地区 石貫安世寺地区

菊池川流域に広く分布する装飾古墳のひとつで、わが国初の国指定史跡である「石貫穴観音横穴」から見おろす集落の景観。古代から古墳と共に生きてきた「くらし」も見えてきます。



▲高台にある「石貫穴観音横穴」から丁寧に手入れされた集落が見渡せます。

▶当時の蔵屋敷が現存しており、かつての繁栄ぶりを伝えています。

〔大浜地区〕



〔高瀬地区〕



▲高瀬裏川の石垣や石橋、俵ころがしなど数々の文化遺産から当時の様子がうかがえます。

〔伊倉地区〕



▶中世の貿易拠点の面影を残す文化遺産や建物が点在しています。

推進地区 高瀬・裏川地区

推進地区 大浜・伊倉地区

しょうぶ祭りが有名な高瀬地区は、菊池川の水運を利用して発展しました。古墳時代は畿内の大王墓に埋葬される石棺を搬出し、中世は朝鮮半島や大陸への貿易拠点となり、江戸時代は年貢米の集積、輸送拠点として地域の中心地となりました。高瀬と密接に関係した大浜、伊倉地区にも、当時の繁栄ぶりを物語る史跡や廻船問屋をみることができます。